

第7回 福岡ゆたか中央病院 地域協議会 議事概要

【日時】平成31年2月7日(木) 19:00~19:35

【場所】JCHO福岡ゆたか中央病院 2階 大会議室

【議題】1. 当院の活動実績報告
2. 協議委員からの意見・要望事項

【出席者】 橋本 弥生 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 保健監)
田代 裕子 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 健康増進課長)
大谷 和彦 (直方市市民部長兼福祉事務所長)
毛利 正史 (直方市消防本部 消防長)
山本 昭利 (直方市市民部健康福祉課長 直方市地域包括支援センター長)
山近 仁 (直方鞍手医師会 会長)
輪田 順一 (みずほ内科・歯科クリニック 副院長)
尾中 純二 (直方市社会福祉協議会 事務局長)
能間 聰 (直方市民生委員・児童委員協議会 会長)
井上千恵子 (くらの会 会長)
松本 高宏 (福岡ゆたか中央病院 病院長)
小野 洋 (福岡ゆたか中央病院 副院長)
中塚 敬輔 (福岡ゆたか中央病院 副院長)
野口 利幸 (福岡ゆたか中央病院 事務長)
福嶋ひろみ (福岡ゆたか中央病院 総看護師長)
重田 潤 (福岡ゆたか中央病院 事務長補佐) ※敬称略

【概要】

1. 当院の活動実績報告
患者動向、医療機関との連携、地域との連携、地域住民への健康促進等について報告。
2. 協議委員からの意見・要望事項
 - (1) 患者動向について
 - ・ 救急搬送について5・6月が少ないが病院の体制が変わったからか。気候がよかったからか。
⇒病院の体制は変わっていない。気候の影響かと思われる。
 - ・ 保健所も在宅医療等について話し合いの場を設けている。福岡ゆたか中央病院が独自で行っている医療介護連携会等について保健所にも声をかけて欲しい。

- ・ 直方市の救急搬送件数について H29 年は 3,313 件、H30 年は 3,323 件と微増。転院搬送については H29 年は 458 件、H30 年は 426 件と減少傾向。
年齢別の搬送については、65 歳以上の搬送が 60%以上を占めており増加傾向。また軽度者の搬送は一時期下がっていたが、ここ 3 年は増加傾向。
また、約 60%が直方市管外に搬送しており、この場合約 1 時間は帰って来られない。
⇒疾患によっては救急搬送を直方市管外にお願いしなければならないが、当院で対応可能な疾患であれば、積極的に受け入れていく。

(2) 医療機関との連携について

- ・ 地域包括ケア病棟の入院基準と退院基準について知りたい。
⇒開業医からの紹介は、レスパイト目的等入院が必要な方やリハビリ目的の入院が中心。退院については病状によって異なるが、40 日後を目安に調整を行っている。
- ・ 直轄地区に約 11 万人いるが、医療機関が限られており患者が管外に流出しているのは問題である。
急性期病院が頑張っても八幡方面からも患者を取り込んで直轄地区の医療のレベルを上げてもらいたい。
また、在宅医療も強化しないといけない。施設医をしているが、いざという時に支えてもらえる医療機関が必要。一人での対応は限界がある。地域包括ケアシステムの充実にむけて連携を強化していきたい。
- ・ 平成 30 年度第 2 回地域医療構想調整会議があったが、直轄地区は全国と比べても地域内で看取りまで完結する割合が低い。在宅や施設での看取りについては、福岡ゆたか中央病院が中核となって、行政、医師会、消防など連携を強化して欲しい。
⇒この地域の方々が安心して生活できるよう対応していきたい。

(3) その他

- ・ 毛利 正史委員（直方市消防本部 消防長）
⇒今年度で退職の挨拶。
- ・ 尾中 純二委員（直方市社会福祉協議会 事務局長）
⇒今年度で退職の挨拶。

以 上